



お問い合わせ先  
**シロモチくんの館** ☎0592276910  
 同館の開館時間は金～日曜日の午前10時～午後4時。火・水・木曜日については事前予約により対応可能。開設は来年3月上旬まで。

**案内所の紹介**  
 藤堂高虎公入府400年記念事業実行委員会は、藤堂高虎公情報センター「シロモチくんの館」を7月11日、津市丸之内の市社会福祉センター一階にオープンした。  
 館内では高虎公に関する映像上映やパネル展示、各種パンフレットを用意。問い合わせのあった質問などにもボランティアスタッフが対応する。運営は高虎公関連の市民団体や観光案内ボランティアなどがあたる。  
 市民や観光客に高虎公の情報を提供する場であり交流する場で、まちづくりへの発展の機会になればと企画された。



|             |                      |
|-------------|----------------------|
| 9月 28日 (日)  | 芸濃地域「街道ウォーキング」       |
| 10月 11日 (土) | 津まつり                 |
| 12日 (日)     |                      |
| 26日 (日)     | 河芸地域「街道ウォーキング」       |
| 11月 2日 (日)  | 高虎サミット in 津          |
|             | 高虎楽座                 |
|             | 津市農林まつり              |
|             | 津中央大会「街道ウォーキング」      |
| 8日 (日)      | 高虎ウォーク in 東京         |
| 9日 (日)      | 入府400年記念東京シンポジウム     |
| 未定          | 津のまん中ウォーク            |
| 12月 14日 (日) | スポーツ・レクリエーションフェスティバル |
| 1月 18日 (日)  | 入府400年記念NHKのど自慢大会    |
| 25日 (日)     | 第4回シティアマソン           |
| 未定          | 食彩フェスタ in 津          |
| 2月 14日 (土)  | スポーツ・レクリエーションフェスティバル |
| 3月 1日 (日)   | 津のまん中ウォーク            |
| 未定          | フィナーレイベント            |

|            |  |
|------------|--|
| 9月 14日 28日 | 手作り甲冑教室 (三重ドリームクラブ)                      |
| 20日～28日    | 藤堂高虎公ゆかりの地を描く展覧会 (藤堂高虎公ゆかりの地を描く展覧会実行委員会) |
| 10月 5日     | 復活! 第21回藤堂マラソン大会 (三重走友会)                 |
| 8日～13日     | 橋田清砂氏コレクション展示 (津文化協会)                    |
| 11日 22日    | 興味新津、和気藍藍 手作り体験 (伊勢木綿の会)                 |
| 11月 2日     | 興味新津、和気藍藍 手作り体験 (伊勢木綿の会)                 |
| 15日～16日    | まちかど博物館総合展示 (津・まちかど博物館もりあげ隊)             |
| 23日        | 新町フェスタ (津新町通り商店街振興組合)                    |
| 12月 未定     | 城下町展 (津のまち展実行委員会)                        |
| 通年         | マスコットキャラクター「シロモチくん」によるPR活動 (三重県デザイン協会)   |



# 特集 藤堂高虎公入府400年記念事業の紹介

## Z vol.2 INDEX

- 02 page 目次
- 03 page 特集 - 藤堂高虎公入府400年記念事業の紹介 - ●案内所の紹介 ●イベント情報
- 04 page ●藤堂高虎カップ第13回ビーチバレーin御殿場 ●高虎公特別展覧会
- 05 page ●街道ウォーク ●藤堂高虎公入府400年記念講演会・記念対談
- 06 page ●津まつりの案内
- 07 page ●高虎サミットin津の案内 ●復活!第21回藤堂マラソン大会の案内 ●藤堂高虎公入府400年と津の町展の案内
- 08 page ●高虎楽座の案内 ●「津市まん中交流館」オープン
- 09 page ●シロモチくんの紹介
- 10 page 津の町の紹介 ●宮踊り(風采踊り) ●やぶねり
- 11 page ●一身田寺内町まつり
- 12 page ●青山高原 ●榊原温泉
- 13 page 企業の紹介 ●JFE三重テックサービス
- 14 page ホームページの紹介 ●藤堂高虎公式ホームページ
- 15 page 広告

高虎公関係記事「安濃津ガイド会会長」西山光正/取材:大西 充代・菅原 潤子

**藤堂高虎公入府400年記念事業**

**公式ホームページ**

携帯版の紹介

トップページのかわいいシロモチくんが目印の藤堂高虎公入府400年記念事業・公式ホームページ携帯版。イベント予定表には、市民自主事業や記念事業を掲載。入府400年事業や藤堂高虎公・ゆかりの地紹介など気になる情報をお出かけ先からチェックできます。

**寒松院**

清賢大僧都が「昌泉院」として開創。藩祖高虎の霊を祀るため、高虎公のし号をとり、寒松院と改めた。以後、藤堂家の菩提寺に。

津藤堂藩初代高虎公をはじめ歴代藩主、夫人や子、久居藤堂藩の五輪塔や碑、板石塔婆の墓、墓塔墓など26基が立ち並び姿は訪れた人を圧倒するほど。

「住所」津市寿町



**猛暑にアタック！  
砂浜で熱戦続く  
御殿場ビーチバレー**

「第13回ビーチバレーin御殿場」が7月27日、津市藤方の御殿場海水浴場で開催された。藤堂高虎公入府400年記念事業の一つとして、藤堂高虎カッパと名づけられた今回、オープニングセレモニーは津・高虎太鼓の演奏で始まり、記念事業マスケットキャラクターのシロモチくんも応援に訪れるなど、会場は大いに盛り上がった。

「広い砂浜、遠浅の海、津の御殿場をもっと知ってもらおう」「御殿場から全国に発信し

ていこう」と始まった御殿場ビーチバレーも13回を迎え、全国的にも有名な大会となった。

エントリーには栃木県から兵庫県まで、県内外からおよそ600組を超える応募があり、その中から約400組1200人が参加した。

参加者は三人一組となり、男子144チーム、女子92チーム、男女混合チーム180チームの計416チームが出場。優勝賞品の松阪牛5kgを目指して熱い試合が展開された。

砂浜に設けられた13面のコートではジリジリとした暑さの中、熱戦が続いた。津市気象台によるとこの日の津市の最高



気温は35.6度。

炎天下でプレーする選手も応援する観客の顔にもひっきりなしに汗が流れていた。

あるコートでは、ボールを追いかけてスライディングした選手が砂浜のあまりの熱さに「熱い」と叫び、お腹についた砂をはらっていると「分かるけどガンバレー」と応援の声がかかる

**高虎公特別展覧会三重県立美術館  
県民ギャラリ**

**高虎公に思いを馳せる  
特別展覧会**

**「藤堂高虎くその生涯と  
津の町の発展」**

津市教育委員会は藤堂高虎公入府400年記念事業の一つとして特別展覧会「藤堂高虎くその生涯と津の町の発展」を8月2日から24日まで、県立美術館・県民ギャラリー(津市大谷町)で開催した。

など、明るく雰囲気の中、試合は繰り広げられた。

また、会場に設けられたステージでは、津市を中心に活動する「極津(ごっつ)」のよさこいソーランや「THE O.N.G(ジヤング)」のライブ演奏、ゲーム大会なども行われ、選手や海水浴客らはおもいおもいに楽しんでいた。

戦国時代、武勇と先見の明ある才覚で大名まで上りつめた津の偉人、藤堂高虎公。慶長13年(1608)、家康の命を受け、伊勢・伊賀国の領主として入府。津藩祖となり津城に入城した。入府400年の記念の年ということもあり、期間中、歴史愛好家や親子連れなど7712人ももの来場者が訪れ、高虎公への関心の高さを物語った。

今展は、①高虎公の生涯くその生い立ちから大名へ②城づ



くりと津城の変遷、③津城下の経営とまちの発展の3部構成にし、高虎公を様々な視点からとらえた。

展示は津市・四天王寺蔵の『藤堂高虎像(附夫人像)』(重要文化財)や津市久居・玉せん寺蔵の『藤堂高虎像』(津市指定文化財)や伊賀上野城に展示の『黒漆塗唐冠形兜』(県指定文化財)、大阪城天守閣蔵の『紅糸胸白威二枚胴具足』、『大坂夏の陣図屏風』(重要文化財レプリカ)、京都府埋蔵文化財研究所蔵の『藤堂藩京都屋敷出土土器』、津市蔵の『津城下図』など県内外に残る歴史資料を一堂に集め、来場者からは武将・技術者・行政者として活躍した高虎公の業績を知ることのできる魅力ある展示と好評だった。

**街道ウォーキング**

**自然と名所旧跡を巡る  
「初瀬街道を  
訪ねるコース」**

藤堂高虎公入府400年記念事業の「街道ウォーク」が7月13日、津市の白山地域で開催された。

藤堂高虎公ゆかりの名所・旧跡を歩こうという同事業は5月～11月までの期間中、市内10箇所地域で10回行われる。コースは8キロ～12キロほどに設定され、参加者はゴール地点でスタンプブックに「完歩スタンプ」を押しもらう。



これを7つ以上集めると3月開催予定のフィナーレイベント「プレゼント」と引き替えのお楽しみがあるのが嬉しい。

照りつける日差しの中、約230人の参加者は、「初瀬街道を訪ねるコース」約8.5キロを元気よく歩いた。「初瀬街道」は大阪・奈良方面と伊勢を結ぶ長い歴史を持つ街道で、同コース内には「紀貫之の墓」や「成願寺」「南出白山比咩神社」「称名寺」などの名所旧跡が点在している。

時おり吹く風に汗を拭いながら、参加者は自然の中のウォーキングを楽しんでいた。市内から参加の50代女性二人組は「今日で4回目の参加。普段からウォーキングをして、健康には気をつけています。今日は緑も多く、空気もいいので、ウォーキングしていても楽しい」と笑顔で話してくれた。

**藤堂高虎公入府400年記念講演会・記念対談**

**書けば書くほど  
好きになる  
作家の安部龍太郎氏  
高虎公の魅力  
大いに語る**

藤堂高虎公入府400年記念講演会(中日新聞社など主催)が、7月19日、津リージョンプラザお城ホール(津市西丸之内)で開催された。

作家の安部龍太郎氏(53)や三重大学の藤田達生教授(49)、松田直久市長(54)ら三人が高虎公の生涯や功績などを熱心に語った。会場は千人を越える応募の中から抽選で当たった約600人の参加者で埋め尽くされ、熱心にメモを取りながら聞き入る姿が多く見られた。

基調講演で安部龍太郎氏は「高虎は武者として強いただけでなく、築城家・町づくりの名手としても有名。主君をよく変えた」と悪評もあるが、味方の危



機を何度も救うなど信義を重んじる誠実な男だった。羽柴秀長に仕えて活躍。後に徳川家康の右腕となり天下安泰のためにも貢献した。また瀾う中央に対し疲弊する地方にも目を向けていた」と話し、「書けば書くほど好きになる、発見がある」と高虎公の魅力を語った。

三重大学の藤田達生教授は「高虎は外様大名でありながら徳川家康の参謀として仕え、幕府確立に尽力した。また街道施策により、全ての人・物が津に集中するようにするなど戦乱の世にいながら泰平時を考えた町づくりの名手であった」と高虎公の都市計画の素晴らしさを話

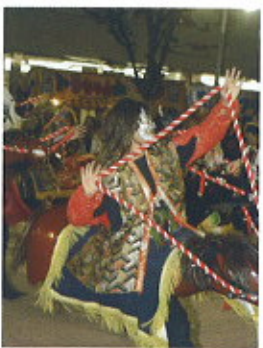


した。そして「内閣府日本一の津城は近世水城の完成型。歴史と共生する町づくりもできるのでは」と提案した。

松田直久市長は「戦国時代、高虎はどのように町づくりを考えたのか。合併3年目を迎える津市に夢のある施策を」と発展への思いを話した。

座談会では「津城復興について、市民の想いが高まっていく中で考えていきたい」「文化・文化力を活かした町づくりのための組織づくりを」などの意見が出された。





来て見て楽しい！  
参加して楽しい！  
津まつり

10月11、12日開催

津市の一大イベントである「津まつり」(津まつり実行委員会主催)が、10月11(土)、12(日)日の両日、津市中心街で開催される。昨年は2日間で延べ38万人の人出で賑わった。

「津まつり」会場は、お城西公園・津市庁舎・お城公園・NHK津放送局前・裁判所前・津JC津中央郵便局前・フェニックス・まん中広場・元氣祭YEG祭・津駅前・津新町通りと多数あり、各会場では多彩な催しが行われ、市内はまつり一色となる。

唐人踊りやしゃご馬、高虎太鼓を始め、久居や美杉、香良洲

などから津市の郷土芸能が一堂に会し、伝統の演奏や演舞などを披露する。17の郷土芸能団体は津郷土芸能の集いや大パレードなどにも参加し、まつりを盛り上げる。大パレードには、市内小中学校の吹奏楽部など29団体が参加。藤堂高虎公入府400年記念の今年は「高虎時代絵巻」の時代行列も参加人数が増え、より華やかに大パレードに参加する。弾け踊る姿が魅力

いっぱい「安濃津よさこい」は今年で11回目を迎え、76団体が参加。元氣な演舞のパフォーマンスは、観客をききつけにしようだ。安めぐみさんが一日船長を務め、日本最大級の和船山車「安濃津丸」に乗っての大パレードもある。山車・みこし、引き船衆、総おどりもあり、市



内のまつり熱気はますます上りそうだ。  
『来て見て楽しい！参加して楽しい！』見所いっぱい「津まつり」が今から待ち遠しい。

「安濃津丸」一日船長  
タレントの  
安めぐみさん(26)に

津市は8月26日、10月11、12日に開かれる「津まつり」で和船山車「安濃津丸」一日船長がタレントの安めぐみさん(26)に決まったと発表した。

安さんが乗る「安濃津丸」は、全長13メートル、幅4.5メートル、帆を立てると高さは11メートルにもなる日本最大級の大きさを誇る和船山車。毎年この迫力ある「安濃津丸」に乗ってパレードするタレントやアーティストを見ようと沿道には多くの人垣ができるほど。安さんは12日津市中心街で行われる大パレードに登場する。

安さんは優しい笑顔が癒し系と人気のタレントで、テレビのバラ

エディ番組やドラマ、CM、写真集などで活躍している。



武者行列「高虎時代絵巻」  
高虎公役と奥方役決定！

津市は8月28日、10月12日に開かれる津まつりの時代行列「高虎時代絵巻」で藤堂高虎公役と奥方役に扮する二人を公募で選んだと発表した。高虎公役に選ばれたのは市内在住の建設会社社長横田吉昭さん(43)と奥方役は三重大生の柘植彩花さん(22)。

高虎公入府400年記念の今年、時代行列も40周年を迎える。手作り甲冑で参加する人やちびっ子武者行列など例年以上に参加者も増え、約1200人規模の行列になりそう。市中心街を練り歩く時代行列は津まつりにいっそうの華やかさを与え

てくれそう。



「津まつりガイドブック」

津まつりのことが、この一冊にギッシリ！パレードスケジュールや会場、出演団体の紹介など津まつりがよく分かるガイドブックです。値段は100円。

販売場所は、津市観光協会・津まつり実行委員会事務局・市内書店(一部取り扱っていない書店有り)、市内各所など。詳しくは津市観光協会ホームページまで。



有料シャトルバス運行

◇メッセージングから  
11日(土)9:00~21:30  
12日(日)9:00~22:00  
◇県庁外来駐車場から  
12日(日)9:00~22:00

## 高虎サミット in 津の案内

「第5回高虎サミット in 津」(主催・同サミット実行委員会)が、11月2日(日)午後1時30分から、津市大門のセンターパレスホールで行われる。城づくり、町づくりの各手言われた藤堂高虎公ゆかりの地との交流を求め、多くの人が集う。

同サミットは、1998年に津市で開催したのが最初。この時は、中心市街地再構築をテーマとし、44都道府県から自治体・商店街関係者が数多く参加した。

その後、高虎公をキーワードとしたゆかりの地との、「人」、「物」の交流を深め、広めていくことをテーマとし、00年、生誕の地・滋賀県甲良町で、02年、築城した三重県上野市(現・伊賀市)で、04年、同じく築城した愛媛県今治市で開催、今回が5回目となる。

当日は、前述の地以外にも、奈良、和歌山、兵庫などから関係者を招待し、基調講演、パネ

ルディスカッションを行う。

講演の講師は、早稲田大学文学部教授の深谷克己さん(69)を予定。深谷さんは旧・久居市(現・津市)出身の日本の歴史学者で、『寛政期の藤堂藩』

(三重県郷土資料刊行会)、『津藩』(吉川弘文館)など、多数の著書がある。また、パネルディスカッションのコーディネーターは、三重大学教育学部教授の藤田達生さん(49)。藤田さんは、高虎公研究の第一人者であり、同サミット実行委員長でもある。パネリストは、松田直久・津市長(54)を始め、5人の予定。活発な意見の交換が期待される。

津の伝統芸能を披露するアトラクションも用意し、最後には大会宣言を採択して終了の予定。会場には一般席も多数用意されている。予約不要。

## 復活！藤堂マラソン大会の案内

藤堂高虎公入府400年記念「第21回藤堂マラソン大会」が、10月5日(日)に行われる。昨年事情により実施できなかったため、今年待望の「復活」となる。

同大会は、1987年にスタート。主催する「三重走友会」の福地賢介代表(69)が阿山郡大山田村(現・伊賀市)の出身で、同村と安芸郡美里村(現・津市)をつないでいたバス路線が廃止された後、それを走ってつなげたいと考えたのがきっかけ。両市にある上野城、津城が高虎公の持ち城のため、「藤堂マラソン大会」と命名した。

2市にまたがる大会は珍しく、50キロという長距離レースもあまりないため、全国有数のウルトラマラソンと言われる。例年、1200人前後のランナーが健脚を競い、県外からの参加者も多い。

50キロの部は、午前8時30分、上野城をスタートし、伊賀街道(国道163号線)を津城ま

## 藤堂高虎公入府400年と津の町展の案内

「藤堂高虎公入府400年と津の町展」(主催・榎田清砂(ひだきよさだ)と津の町展実行委員会・津文化協会)が、10月8日(水)から13日(月)まで、津市西丸之内のリージョンプラザ3階展示室で行われる。



制限時間7時間。25キロの部は、同10時30分、長野すい道東側広場をスタートして津城まで。制限時間4時間。

同展は、1998年度県民功労者表彰を受賞した郷土歴史家・榎田清砂さん(90)の所蔵資料を中心に、三重大附属図書

館研究開発室・県史編さんグループ・県立博物館の協力を得て企画。高虎公ゆかりの品の紹介にとまらず、学術的側面からの切り口で、農民を中心とした、藩を支える人々にも目を向けた点が画期的だ。

お問い合わせ先 同会  
059(237)0795

お問い合わせ先  
同展実行委員会  
059(226)9373



## 高虎楽座の案内



楽しいイベント  
目白押し  
出かけてみよう!  
「高虎楽座」

毎回多くの市民で賑わう恒例イベント「第36回高虎楽座」(高虎楽座運営協議会主催)が、11月2日(日)津フェニックス通りと津市まん中広場(津市大門センターパレス横)で開催される。今年も藤堂高虎公入府400年記念事業の一環として、高虎公ゆかりの地の郷土芸能披露や物産販売など行われ、より魅力的な内容となっている。

化の保存や継承にも努めようとして年2回開催されている。

第36回となる今回、「高虎楽座」では高虎太鼓や子ども唐人おどりなど郷土芸能に加え、高虎公ゆかりの地から今治市の寿太鼓、甲良町の在武区大正琴なども参加し華やかなステージパフォーマンスが行われる。



「にぎわい市」では、衣料品、日用雑貨品、骨董品、飲食物等が並ぶフリーマーケットを開催。お気に入りの一品を探して、ゆっくり見てまわるのも楽しい。

**高虎楽座出店者募集**

|      |  |
|------|--|
| 日時   | 11月2日(日) 10時~16時                             |
| 場所   | フェニックス通り                                     |
| 出店内容 | 衣料品、雑貨、手作り品、骨董品など。                           |
| 申込期間 | 9月17日(水)~10月1日(水)                            |
| 申込先  | 高虎楽座運営協議会事務局<br>(津市・商業労政振興課内)<br>☎0592293169 |

また夕方7時からは「秋の夜の夢屋台」(特定非営利活動法人)県アマチュア軽音楽協会とまちなか元気プロジェクト(浜名)

## 憩い・交流・活性化に期待 「津市まん中交流館」オープン



市民の憩いの場、交流の場、また中心市街地の活性化を目的に9月1日にオープンした「津市まん中交流館」(津市大門・津センターパレス地下1階)で、6日オープンイベントが開催された。

記念式典には松田直久市長を始め津市議会議員や地元自治会、市民団体代表など41人が出席。事業概要の報告後、くす玉が割られると会場は訪れた市民のお祝いの拍手でつつまれた。子ども唐人踊りの披露もあり、華やかにオープニングの幕が開いた。

展示が行われたミニNPOフェス、書道やフラワーアレンジメントの作品展示、お茶会、若手アーティストによるまん中アート展、子育て支援コーナー、藤堂高虎公入府400年記念事業キャラクターのシロモチくんグッズの販売など多彩に行われ、多くの人たちがどこにもぎわっていた。

展示コーナーでは、藤堂高虎公ゆかりの地の写真「春の津城北内堀と本丸北石垣」など12点や大正時代の「津市・久居町など案内図」大パネル等、北京オリンピックメダリスト吉田沙保里選手の写真パネルなどを熱心に見入る市民の姿が多く見られた。

## シロモチくん着ぐるみの紹介



藤堂高虎公入府400年記念事業公認マスコットキャラクター「シロモチくん」の着ぐるみが誕生!

全国からの応募作品364点から最優秀賞に選ばれた「シロモチくん」作品イメージそのままに着ぐるみとなったシロモチくんは「唐冠形兜」に、白く丸い3つの体特徴的。この白い3つの体は、高虎公の逸話から作られたもの。また高虎公が若く貧しかった頃、餅屋で丸餅をつまみ食いしてしまった。けれど餅屋の主人は始めることなく、高虎公に温かい情けをかけてくれた。後年、高虎公はその恩を忘れないようにと「城持ち」に通じる紺地に白い丸餅を3つ並べた白餅柄を藤堂家の旗印に。シロモチくんはこの藤堂

家の「白い三つ丸餅の旗印」から生まれた精霊だったのだ。

### 着ぐるみ製作協賛企業

津市観光協会/津商工会議所/株式会社朝日屋/井村屋製菓株式会社/株式会社エスバ/グラシエロゴルフ倶楽部/沢徳仏壇株式会社/津駅前都市開発株式会社/津南郊ショッピングセンター株式会社/大観音寺・ループル彫刻美術館/医療法人東海眼科/百五コンピュータソフト株式会社/株式会社三重額縁/三重タイムズ株式会社/三重トヨタ自動車株式会社/有限会社ミフジ印刷/三宅印刷株式会社/株式会社山口商会(敬称略)



## シロモチくん着ぐるみ発表会の紹介



藤堂高虎公入府400年記念事業の公認マスコットキャラクター「シロモチくん」を広く知ってもらおうと、8月2、3日、津市高茶屋のイオン津南ショッピングセンター・サンパレーで、シロモチくん発表会が行われた。キャラクターの著作権を管理する特定非営利活動法人三重県デザイン協会が主催した。

同記念事業マスコットキャラクターの募集には、北海道から沖縄まで全国から364点もの応募があった。その中から「親しみやすさ・かわいらしさ」の点が高く評価され、癒し系のシ

ロモチくんが選定された。発表会には着ぐるみのシロモチくんも登場。全国から集まったキャラクター応募作品の展示やシロモチくんと一緒に写真撮影コーナー、シロモチくんグッズ販売が行われ、会場を盛り上げた。特に写真撮影コーナーは

## シロモチくんグッズの紹介

8月2・3日、イオン津南ショッピングセンター・サンパレー(津市高茶屋)で行われたシロモチくん発表会で、シロモチくんグッズが新発売された。この日初お目見えしたグッズは全部で5種類。Tシャツ(千円)、携帯ストラップ(六百円)、マグカップ(五百円)、うちわ(三百円)、ステッカー(二十五円)だ。気になる価格は「たくさんの方に手にとってもらえれば」とお求めやすい価格に設定されているのが嬉しい。

どのグッズにもシロモチくんがデザインされ、「何ともいえない愛嬌がほほえましい」「見

シロモチくんと一緒に撮影した写真がもらえるとおあって、家族連れに大人気だった。会えば思わずニコリと微笑みたくなるような愛くるしさのあるシロモチくん。訪れた買い物客の人も高く、今後ますますPRに活躍してくれそうだ。



ていて癒される感じがいい」と発表初日から買い物客らのハートをしっかりとつかんだ模様。これからシロモチくんグッズの人氣はますます上がりそうだ。シロモチくんグッズは今後、津市羽所町アスト津2階の津市観光協会で販売される。